

【JA えひめ南みかん学校_研修生インタビュー🍊】

「みかん学校」は、高齢化等による担い手不足といった課題に立ち向かうため、関係機関が連携し新たな担い手を確保育成することを目指す研修施設として、えひめ南農業協同組合によって昨年4月に設立されました。

本年度は、県内外から2年目の研修生を含む5名が、就農を目指し研修に励んでいます。

今回は、入校から約半年が経過した新研修生4名に、みかん学校入校のきっかけなどお話を伺いました！

◆藤田 俊文さん（宇和島市出身）~~~~~

Q1.入校のきっかけ

前職は飲食業でしたが、親戚に柑橘農家がいたことや、10年前の吉田町立間地区でのみかんの収穫アルバイトを通じて、就農を考えるようになりました。みかん農家を目指す中、農協に相談をしたところ「みかん学校」を紹介していただき入校しました。



Q2.実際に学んでみて感じたこと

みかん農家の年間作業を経験できることや、座学を通じて栽培や経営の基礎知識を習得できるところが魅力だと感じています。農機具や作業道のメンテナンス方法、農薬に関する知識も増えてきています。

Q3.今後の目標・やりたいこと

来年4月の就農を目標にしています。農作業については、基本的に1人で行う予定としているため、小規模経営にはなるとは思いますが、その中でも収入を確保できるよう、高品質なかんきつの栽培を目指しており、きめ細やかな作業を行う必要があると考えています。

🍊育てたい柑橘

温州みかん・ポンカン など

◆森岡 瞭太さん（宇和島市出身）~~~~~

Q1.入校のきっかけ

親戚がみかん農家をしており、比較的農業は身近な存在でした。収穫作業の手伝いを通じて、自分でも柑橘を育ててみたいと思うようになっていたところ「みかん学校」があることを聞き、

実際に JA で学校の詳細を聞き、入校を決意しました。

Q2.実際に学んでみて感じたこと

園地の維持、果実のより良い成長のためにも、きめ細やかな管理が必要なのだと感じています。

月2回程度、知り合いの農家で手伝いもしているのですが、学校で学んだ知識がさらに深まるように感じています。



Q3.今後の目標・やりたいこと

2年間の研修後に、市内での就農を目標としています。研修を通じて、様々な農業知識やノウハウを学びたいと思います。また、独立後は一経営者となるため、経理等の経営に関する知識の習得にも力を入れなければならないと考えています。

🍊育てたい柑橘など

紅まどんな・落葉果樹（キウイ）など

◆ 大川 崇利さん（栃木県出身） ~~~~~

Q1.入校のきっかけ

関東での生活を経て、自然の中で何かを育てたいという思いが強くなりました。また、農業アルバイトで全国をめぐ的过程中で「みかんの産地・宇和島」に魅力を感じ、就農を本気で考えていた時に会ったのが「みかん学校」でした。未経験でも、基礎から学べる環境に惹かれ入校を決意しました。



Q2.実際に学んでみて感じたこと

みかん作りは思った以上に繊細で奥深いと感じています。剪定や土づくりひとつ取っても、その年の天候や木の状況を見極めながら行う必要があります。

実習では、先生方に丁寧に教えていただき毎日新しい発見があります。農業は、知恵や技術を受け継ぎながら進んでいくもので、「人とのつながりの大切さ」を改めて実感しています。

Q3.今後の目標・やりたいこと

まずは、みかん学校で基礎を学び、栽培や経営の土台を身に着けることが目標です。そのうえで、みかん農家として独立した時には、収穫の時期に全国から季節労働者の方を受け入れられるような体制を整えていきたいです。

🍊育てたい柑橘など

温州みかん（早生）・南柑 20 号・ゆず など

◆ 山本 雄大さん（広島県出身） ※R7.7月入校

Q1.入校のきっかけ

前職を退職した際、みかん農家であった義父より農家への転身について提案があったこと、元々、植物・自然には関心があり、田舎暮らしへの憧れもあったことから、宇和島に来ることにしました。色々な人の技術を学ぶことから、みかん学校を勧められ入校しました。



Q2.実際に学んでみて感じたこと

前職はサービス業で、人相手の仕事から自然相手の仕事に変わりましたが、とても楽しいです。柑橘栽培は天候に左右されますし、ベースは同じでも細かな作業方法は人によってそれぞれ違いがあるので、とても勉強になります。学ぶことが尽きないですし、そういう機会があるのは素敵なことだと感じています。

Q3.今後の目標・やりたいこと

早く一人前になって、義父から園地を引き継げるようになりたいです。新品種の栽培にも取り組みたいです。効率的な栽培や経営ができるよう、みかん学校でしっかり学びたいと思います。

🍊育てたい柑橘など

新品種に挑戦したい

9月以降、極早生・早生みかんの収穫・出荷作業もスタートしています。体力的にも大変なことが多いと思いますが、研修生にとって学び・気づきの多い実習となるよう願うばかりです。

インタビューにご協力いただいた4名のみなさん、貴重なお時間をいただきありがとうございます。柑橘農業の新たな担い手として活躍される日を楽しみに、全力でエールを送っています！



((番外編)) 宇和島いかがですか、大川さん！山本さん！~~~~~

☺良いところ

(大川さん)

▶自然がとても豊かで、人が温かい！

⇒朝、海を見ながら学校へ向かう時間がすごく贅沢。地元の方が気さくに声をかけてくださるなど、何気ない日常が心に残る場所です。

▶食べ物が美味しい！

⇒地元の柑橘や魚、野菜、水に毎日癒されています。

(山本さん)

▶子育てしやすい！

⇒宇和島市は子育て世帯向けの制度が充実していると思います。

▶時間の流れがゆったりしている！

⇒自分のペースで仕事や生活ができると思います。

☹移住に際して大変だったこと

(大川さん)

▶住宅の確保！

⇒移住にあたり住居の確保に時間がかかりました。市の移住体験住宅にも10日程度入居しました。移住当時、自動車等の移動手段がなかったのですが、地域のコミュニティバスが意外と便利でした。

(山本さん)

▶コンビニが遠い位で、不便さは特に感じていません。

